

一般社団法人 陵水会  
東京支部 会員各位



陵水会東京支部長 緒方俊輔  
大学36回(1988年)当番幹事一同

## 井本望夢さんインタビュー／令和7年度東京支部総会 講演会登壇

令和7年7月5日（土）開催の東京支部総会の講演会登壇者である井本望夢さんの紙上インタビューを紹介させていただきます。

データサイエンス学部選択、学び、そして起業についてお伺いしました。



### Q1：なぜ、データサイエンス学部に入学されたのですか？

私がデータサイエンス学部を目指したのは、進路に迷っていた中でどの分野に活用できるデータサイエンスに魅力を感じたからです。

データサイエンス学部では、統計学、プログラミング、ビジネスへの活用など、幅広い分野を学ぶことができました。特に河本薫先生のゼミが印象深く、実践的なデータ分析の手法を学ぶことができました。ゼミでは、実際の企業のデータを使って分析を行い、課題解決のための提案をする経験もしました。

### Q2：起業の目的というか動機について教えてください。

私が起業に至ったのは、大学での学びを通じて大企業と中小企業とでデータ活用のレベルに差があると感じ、企業の規模を問わずデータを有効に活用できる社会にしたいと思ったからです。またそれは、地方の企業にとって既存のサービスでは解決できない課題であると感じ、自分自身で新しい解決策を提供したいという思いもありました。

私の事業は、問題を解決するためのデータ分析の受託を主としています。具体的には、主に企業が保有しているデータを用いて顧客データの分析によるマーケティング戦略の立案や、製造データの分析による業務効率化などを行っています。またより多くの企業がデータドリブンな意思決定を内製化できるよう、データ活用に関するアドバイスや、AIなどを十分に活用するための環境整備の支援、DXコンサルなども行っています。

### Q3：なぜ在学中に起業されたのですか？

私が在学中に起業を決断した理由の一つとして、データサイエンスのニーズが高まる中で競合他社が増える前にいち早く事業を始めたいという気持ちがありました。ゼミで独り立ちのための知識と技術を身に付け、学業や部活が落ち着いたタイミングで起業をしました。

また起業後、滋賀大学発ベンチャーに認定されたことで、大学の設備やネットワークを活用できるというメリットもありました。

#### **Q4：もし大学への要望がありましたら…。**

当初から大学に頼るつもりがなかったので特に不満はなかったです。今はアントレプレナーシップの授業や起業相談なども始まっているので充実しているのではないかなと…。

#### **Q5：後輩の皆さんにお伝えされたいことをお願いします。**

後輩の学生に対して、楽しく生きられる道を選択してほしいと思っています。私は自分のやりたいことや性格などを踏まえて起業という選択をし、楽しく生きています。ぜひ色々なことにアンテナを張って、様々な選択肢を探してもらいたいです。

また、データサイエンスは可能性に満ちた分野であるため、大学で学んだ技術や考え方がこれからの人生にも生きてくるといいなとも思っています。

#### **Q6：今後の方向性について教えてください。**

私はまず現在提供しているデータ活用支援のサービスをさらに拡大し、全国各地で活動をしていきたいと考えています。また、より多くの人々が正しくデータを活用できるような教育プログラムの展開もしていきたいです。さらに大学を中心に滋賀県をデータサイエンスのシリコンバレーとして盛り上げるにあたって、先頭を走っていけるような企業を目指しています。

7月5日（土）の講演にご期待ください。当番幹事一同、上野精養軒にてお待ち申し上げます。

参加申し込みはこちらから：<https://forms.gle/6cQXgJaJVXxTF8c87>